

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2019
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.116, (2019. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01160001--002">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01160001--002</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 目次

- 1 言語論的転回にもとづく詩的精神への言及——保田與重郎の初期批評に  
おける詩の問題をめぐって—— 村山龍
- 19 『世説新語』の劉孝標注にみえる子部の佚書と類書所収の佚文との比較研究  
福田文彬
- 37 現代日本の「三国志」受容における二つのリアリティー  
——北方謙三と宮城谷昌光の両極性—— 吉永壮介
- 
- 84 彙報
- 2018年度藝文学会シンポジウム 慶應義塾文学科教授・永井荷風  
——『三田文學』通巻800号突破を記念して——
- 92 ディスカッション
- 96 コメンタリー 荻野アンナ
- 101 総括と注釈——横浜正金銀行の文学史にふれて—— 巽孝之
- 112 異郷の荷風、魔境の荷風——英語文献と幻想文学との両脈から——  
ピーター・バナード
- 116 季節芸術の復活者・永井荷風 持田叙子
- 136 『慶應義塾文学科教授 永井荷風』出版及び「三田文学」発刊800号  
突破記念シンポジウム基調講演 末延芳晴
- 144 はじめに
- 159 「時間が動く」・「時間を動く」——現代日本語における  
時間の概念メタファー構造—— 益子望
- 175 モンテーニュの『エッセー』における「技巧への無頓着」に関する覚書  
竹中公二
- 197 「いわゆる教養人」と学位をめぐる諸問題——トーマス・ベルンハルト  
『消去』における大学入批判 クリストファー・シュレター
- 214 ゲーテ『ドイツ避難民欲談集』における社交 岩崎佑太
- 233 「人種のるつぼ」：ロバート・ルイス・ステイーヴンソンの  
『難破船』における黄禍論 守重真雄
- 246 アガペーのゆらぎ——ロレンス・スターン『ブラーミンの日記の続き』に  
おける恋愛の非正統性 久保田裕紀
- 264 ナボコフの二重生活——『セバスチャン・ナイトの真実の生涯』に見る  
言語的情事 内田大貴